

(6) 東海



東海地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

- ・ 鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。
- ・ 個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。
- ・ 雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (_ は上方に変更、 _ は下方に変更)

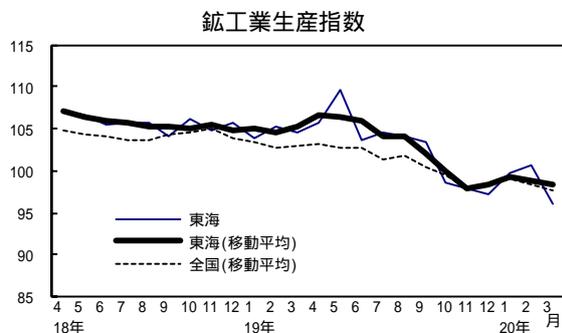
前回からの主要変更点

	前回 (令和2年3月)	今回 (令和2年5月)
景況判断	足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある
鉱工業生産	弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している
個人消費	足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱い動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している
雇用情勢	改善	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。

1 - 3月期には、「輸送機械」は、乗用車、自動車部品が増加したことから、増加した。「電子デバ、電気・情報通信」は、集積回路が増加したことから、増加した。「石油・石炭製品、化学、プラスチック」は、増加した。「汎・生産・業務用機械」は金属工作機械が減少したことから、減少した。「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」は、増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10 - 12 月期	1 - 3 月期	1月	2月	3月
輸送機械	40.1	8.9	1.5	5.1	0.4	4.8
電子デバ、電気・情報通信	13.3	0.0	3.9	0.7	2.9	1.2
石油・石炭、化学、プラスチック	13.0	4.5	1.3	2.0	4.8	8.3
汎・生産・業務用機械	11.2	6.1	4.3	3.6	2.1	4.2
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	6.4	5.3	0.2	3.0	1.8	5.0
鉱工業	100.0	5.9	0.9	2.5	0.9	4.6

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 1 - 3月期、3月は速報値。

3. 業種は内閣府にて分類。

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東海の最新月は速報値。

2. 全国及び東海の太線は中心3か月移動平均。

直近月は2か月平均。

3. 東海は内閣府にて算出。

2. 個人消費の動向

個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

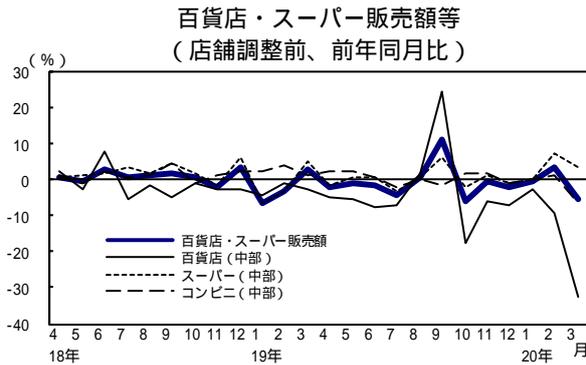
1月は前月比1.1%減、2月は同0.6%減、3月は同6.4%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、1月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。2月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。3月は、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。

スーパーは、1-3月期は、飲食料品が増加したことにより、前年を上回った。

4月は、休業や営業時間の短縮を実施した店舗がみられた。



	2020年1 3月	2020年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	3.1	1.1	0.6	6.4
百貨店・スーパー(*2)	0.9	0.3	3.6	5.7
百貨店(*3)	15.4	2.9	9.4	32.6
スーパー(*3)	3.4	0.3	7.2	3.2
コンビニ(*3)	1.9	0.1	1.4	6.6
乗用車(*4)	11.6	15.3	11.8	9.0
(季節調整値)(*4)	2.6	0.8	3.5	0.8

(備考) 1. 季節調整前(前期)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

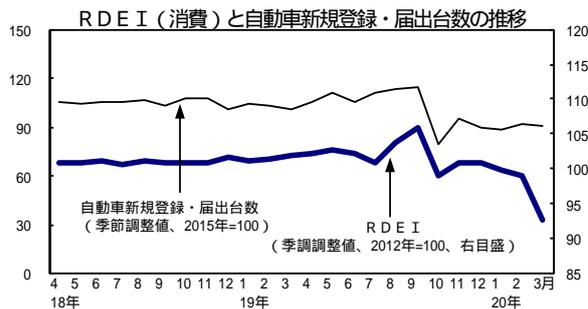
百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店、スーパー及びコンビニは、経済産業省の中部

(富山、石川、岐阜、愛知、三重)の値。

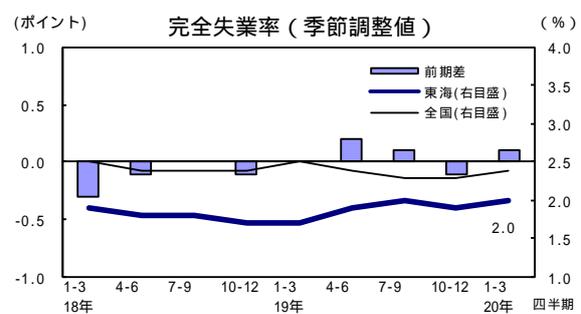
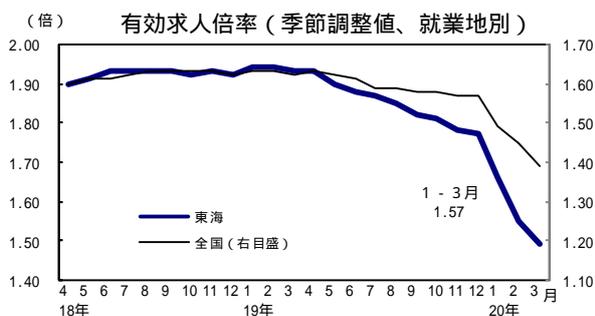
4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱さが増している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。



(13) 景気ウォッチャー調査 (令和2年4月調査) 景気判断理由の概要

6. 東海

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

分野		判断	判断の理由
現状	家計 動向 関連	×	・新型コロナウイルスの拡大防止に対応し、営業時間の短縮、一部店舗の休業を余儀なくされている。緊急事態宣言後、更に来客数が減少した(高級レストラン)。
			・当業界も新型コロナウイルスの影響で、この繁忙期に見込んでいた引越しの借り控えが起きている。それに加えて法人客の入退去も少なくなってしまったので、かなり悪くなった(その他住宅[不動産賃貸及び売買])。
			・新型コロナウイルス対策による巣籠り需要により、食品の買上点数、客単価は大幅に伸びており、売上も前年比130%以上となっているが、景気上昇による需要ではないので、実際の景気状況は分からない(スーパー)。
	企業 動向 関連	×	・完成車メーカーの製造ラインがストップしている関係で、製造現場の3割程度は休業している状態である(輸送用機械器具製造業)。
・企業客の動きは鈍い。個人客が宅配便の利用を増やしているが、新型コロナウイルスが終息するまでの間である(輸送業)。			
雇用 関連	×	・医療・福祉関係を除き、ほぼ全ての産業で新規求人数が減少している。また、雇用調整助成金の問合せが、内容の確認から申請に変わってきた(職業安定所)。	
その他の特徴 コメント			・新型コロナウイルスの影響もあり、引き合いが減少している(人材派遣会社)。
			×:新型コロナウイルスの影響は、3月まではそれほどなかったが、4月に入ってから徐々に始め、16日の緊急事態宣言の対象拡大により急激に売上が減少した。夜の来客数が減少したことが大きな要因である(コンビニ)。
			×:新型コロナウイルスの影響により事業の見通しが立たない状態のなか、新規採用を控えるを得ない状況である(民間職業紹介機関)。
分野		判断	判断の理由
先行き	家計 動向 関連	×	・新型コロナウイルスの影響で景気は全く読めない状況である。新型コロナウイルスが終息するのは今年一杯掛かると見込まれるため、今年はずっと景気が悪い(設計事務所)。
			・必要な物ならば金額にかかわらず購入するという印象を受ける。結局のところ売上は変わらない(家電量販店)。
	企業 動向 関連	×	・今の状況は多業種にわたり、大変な状況となっている。これから先は新型コロナウイルスが終息するかしないかで大きく変わるが、数か月先では回復する見込みがない(金融業)。
			・一般化学薬品については在庫調整が入り、容器の出荷量は減少する見込みである。引き続き消毒液関係の特需は増える見込みだが、トータルではマイナスを見込む(化学工業)。
雇用 関連	×	・大手企業のみならず中小企業でも求人はクローズ傾向である。余波は広がっていくと懸念される(求人情報誌制作会社)。	
その他の特徴 コメント			・タクシー業界は先がみえない。新型コロナウイルスの影響がいつ終息するかで変わるが、ゴールデンウィークも帰省や旅行等も全くない状況で、先がみえず不安でならない(タクシー運転手)。
			×:客のほとんどが秋のシーズンに向けた旅行の計画も立てられない状況で、新たな受注は少ない。少ない受注も、新型コロナウイルスの終息という条件付きである。既に受注している案件を見守るのが精一杯である(旅行代理店)。

(DI) 現状・先行き判断DI(東海)の推移(季節調整値)

